

簿記3級仕訳問題 第1回

問. 次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	売掛金	当座預金	立替金	受取手形
土地	建物	未収金	現金過不足	当座借越
支払手形	買掛金	預り金	借入金	引出金
売上	給料	通信費	地代家賃	租税公課
旅費交通費	雑費	支払利息	支払保険料	受取手数料

1. 小口現金係より、下記のような報告を受けて、ただちに小切手を振り出して資金を補充した。小口現金係は毎月月末になると支払報告書を提出し、これにもとづいて資金を補充している。なお、当店は定額資金前渡制度（インプレスト・システム）を採用している。

収入印紙代 ￥5,000 旅費交通費 ￥16,500 雑費 ￥8,400

2. 当店は地方に支店を開設するために、土地 300 坪を 1 坪につき ￥20,000 で購入し、登記料 ￥50,000 および仲介手数料 ￥55,000 とともに、代金は小切手を振り出して支払った。ただし、当座預金残高は ￥4,500,000 であったが、淀川銀行と当座借越契約を結んでおり、借越限度額は ￥2,000,000 である。
3. 全従業員の今月度の給与総額 ￥1,200,000 から、所得税の源泉徴収分 ￥150,000 および従業員の生命保険料の立替金 50,000 を差し引いて、手取額を現金で支払った。
4. 店主が支払うべき所得税 ￥100,000 を当店の現金で支払った。
5. 金沢商店に販売した商品の一部に品違いがあり、売上金額 ￥40,000 分が返品されてきた。このうち ￥20,000 は金沢商店に対する売掛金残高と相殺し、残りは約束手形を振り出して支払った。なお返品を受けた時点で金沢商店に対する売掛金残高は ￥20,000 であった。

簿記 3 級仕訳問題 第 1 回 答案用紙

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

簿記3級仕訳問題 第1回 解答・解説

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	租 税 公 課	5,000	当 座 預 金	29,900
	旅 費 交 通 費	16,500		
	雑 費	8,400		
2	土 地	6,105,000	当 座 預 金	4,500,000
			当 座 借 越	1,605,000
3	給 料	1,200,000	現 金	1,000,000
			預 り 金	150,000
			立 替 金	50,000
4	引 出 金	100,000	現 金	100,000
5	売 上	40,000	売 掛 金	20,000
			支 払 手 形	20,000

1. 印紙代は通信費と間違えやすいので要注意。
2. 登記料や仲介手数料などの付随費用は土地の購入代価に含める。
3. 従業員立替金勘定が無いので、最も適当な立替金勘定を使用する。
4. 店主の所得税は租税公課などの費用にはならず、店主個人が負担するものである。引出金勘定が無い場合は資本金や店主借（貸）勘定を使用する。
5. 返品を受けた場合は、通常は売掛金と相殺するのであるが本問の場合は既に一部の入金を受けていることが読み取れる。この場合は相殺する売掛金は無いので留意する。